



中央地区社会福祉協議会
会長 中西 義宣

笑顔で声を掛け合い、 心通い合う、活気溢れる、 安心して、安全な街：中央地区

萌芽の候、皆様におかれまして、ご健勝にお過ごしのことお慶び申し上げます。
平成29年度は、私も中央地区社会福祉協議会におきましては、連合町内会、民生委員・児童委員協議会との連携の下、第3期(28年～32年)保土ヶ谷ほこなまちづくり(地域福祉保健計画)2年目として、年間目標を掲げて各自治会、町内会にも働きかけ、積極的に活動し、ますますの成果を残すことができました。

なかでも、星川地域ケアプラザと民生委員児童委員有志による認知症カフェ(ネーブル倶楽部)および認知症サポーター養成講座の開催や、保健活動推進委員と民生委員・児童委員の共催によるウォーキング教室の開催などで、高齢者への対応に大きく一歩踏み出すことが出来ました。皆様方のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、平成30年度もこれまで通り、地区社会福祉協議会、連合町内会、民生委員・児童委員協議会の三本柱でしっかりとプログラムを組み、地域福祉保健計画3年目の地区目標を中心に、諸々の計画を着実に推進するなかで、少々出遅れている「障がい者への支援の取り組み」を加速させ、笑顔で声を掛け合い、心通い合う、活気溢れる、安心して、安全な街「中央地区」を目指してまいります。引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

中央地区老人クラブが 認知症講座開く



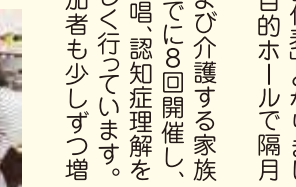
中央地区の老人クラブ会員を対象とした認知症サポーター養成講座が、11月29日(水)午後1時半から、かるがも2階の多目的ホールで開催されました。
講座を担当したのは星川地域ケアプラザの職員と、ネーブルの会(認知症を理解する会)の5人。映像や寸劇を通して認知症の人を理解し、寄り添い、守るための方法を分かりやすく説明しました。
参加者52人のうち大半が65歳以上なので、講師のMC(軽度認知障害)の時期を逃さず医療機関を受診すれば、認知症の発症を止めたり、進行を遅らせることが出来ることの説明に、大きな反響がありました。

パークシテイ横濱で 2回の認知症講座



終了後のアンケートには「今後サポーターとして、認知症の家族の気持ちをしっかりと受け止めた」となどの感想が多く寄せられました。
川辺町のパークシテイ横濱では集会室を会場に、今年度2回の認知症講座を開催しました。1回目は7月22日(土)にサポーター養成講座として開催し、35人が受講しました。星川地域ケアプラザ職員とネーブルの会の2人が担当し、寸劇なども交えた講義を行いました。参加者には認知症サポーターの証であるオレンジリングが手渡されました。
2回目は11月25日(土)に認知症学習会として開催。ここでは認知症の具体的な事例をもとに説明があり、軽度認知障害(MCI)の状態と医療機関にかかるとの重要性が強調されました。最後は認知症予防のために考案されたゲーム(スクエアステップ)を皆で経験し、笑顔があふれるなかで終了しました。

ネーブル倶楽部は着実に発展



平成28年に中央地区と星川地区の有志で発足したネーブルの会(認知症を学ぶ会)が、発展し「認知症カフェ(ネーブル倶楽部)」「佐藤眺吉代表」となりました。現在、かるがも多目的ホールで隔月に開催しています。
認知症の当事者および介護する家族を迎えて、30年2月までに8回開催し、体操、脳トレゲーム、合唱、認知症理解を進める講座などを楽しく行っています。回を重ねるごとに参加者も少しずつ増えて軌道に乗ってきました。
更に参加者の癒やしのひとつとするため、スタッフは工夫を凝らして運営していきます。参加希望の方は星川地域ケアプラザまでご連絡ください。

編集後記

◆今回からもう一人女性の編集委員が加わり、3人で広報紙11号の制作にあたりました。中央地区の新たな事業としてウォーキング教室を2回開催し好評でした。その様子を詳しく掲載しましたのでご覧下さい。29年度は各町内の催しも多岐にわたり、誌面が足りないのではと。読んで楽しく元気が出る誌面を目指します。

◆昨年12月に民生委員 斉改選があり、新たにスタートした一年が足早に過ぎました。中央地区では半数近くのベテラン民生委員が退任されましたが、様々な活動はしっかりと引き継がれ、変わらずに今年も様々な活動が行われました。こうした活動をこの広報紙でお届けできたいは幸いです。

◆民生委員として初めて広報紙の取材と校正に関わりました。中央地区内の各自治会・町内会では発売に色々な活動をしていることがよくわかりました。来年度の広報紙作成に向けて、所属する町内会だけではなく、地区内の町内会の行事を多く取材して、皆様にご紹介していきたいと思っております。

健康体操講座を開催



第8回の健康体操講座が、3月9日午後保土ヶ谷スポーツセンターを会場に開催されました。あいにくの雨天のなか31人が元気に参加。2025年には5人に1人が認知症になると、厚労省は予想しています。そこで中央地区社協では認知症理解への取り組みを「ほっとなまちづくり計画」にも盛り込み推進してきました。今回はその取り組みを特集して紹介します。

◆中央地区社協の概要と構成

相鉄星川駅から天王町駅の沿線の北側に東西に広がった高低差のある地域に、約9,000世帯、約18,000人が住み、16の町内会・自治会で構成されているのが中央地区社会福祉協議会です。所属の町内会・自治会名は以下の通り。
川辺町町内会、宮田町町内会、宮田町協和会、天王町町内会、天王町団地自治会、天王町スカイハイツ自治会、川辺町住宅自治会、川辺町第2住宅自治会、峰岡町1丁目町内会、峰岡町2丁目自治会、パイロットハウス星川自治会、コスモ横浜星川自治会、ライオンズマンション横浜星川町内会、ラムセス横浜星川自治会、パークシテイ横濱自治会、アリュール横濱星川自治会。
中央地区社会福祉協議会が主催する諸事業、諸活動には皆さまから寄せられた区社協賛助会費の還元金、あったかほかや助成金などが充てられています。これら貴重な財源をもとに中央地区社協の独自事業のほか、各町内会・自治会の行事や活動を支援しております。今後ともご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

◆平成29年度の事業報告

- 今年度も中央地区社会福祉協議会は、高齢者支援、子育て支援、防災訓練支援、各自治会・町内会の諸活動支援などに取り組みました。
- ◇総会(年1回5月)
- ◇広報誌「おげんきですか」発行(年1回3月末)
- ◇おたのしみ会(1,8月を除く10回)
- ◇配食(弁当)サービス(8月を除く11回)
- ◇民生委員・児童委員協議会(1,8月を除く10回)
- 中央地区社協交流見学会
- ◇川崎市浮島「かわさきエコ暮らし未来館」
- ◇川崎市生田緑地内「日本民家園」(岡本太郎美術館)「宙(そら)と緑の科学館内プラネタリウム」
- 中央地区社協の独自研修会
- ◇健康体操講座
- ◇ウォーキング教室(2回)
- ◇あんしん訪問員研修会
- 中央地区社協の独自活動
- ◇認知症サポーター養成講座
- ◇認知症カフェ(ネーブル倶楽部)
- 防災訓練
- ◇稚子小学校区拠点防災訓練
- ◇肇小学校区拠点防災訓練
- ◇宮田中学校区拠点防災訓練

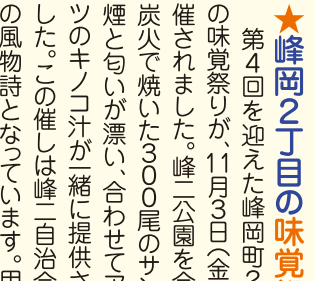
中央地区のキラリ(活躍)です

★天王町で流しそめん大会



天王町の町名誕生90周年と保土ヶ谷区制90周年を記念した、「流しそめん大会」が10月1日(日)に天王町商店街のメイン通りを会場に行われました。町内外から約1,000人がつと、竹筒の桶(こい)の中を勢よく流れるそめんを、素早く割り箸ですくうほほえましい親子の姿が見られました。珍しい体験に子どもたちも歓声を上げながらそめんを口にしました。始まりのセレモニーには、菅井保土ヶ谷区長も出席して挨拶。その後、区民の中に入って試食されました。夕方には天王町公園を会場に、商店街フロアでも開催されました。

★峰岡2丁目の味覚祭り



第4回を迎えた峰岡町2丁目の味覚祭りが、11月6日(金)に開催されました。峰岡公園を会場に炭火で焼いた300尾のサンマの煙と匂いが漂い、合わせてアツアツのキノコ汁が精に提供されました。この催しは峰岡自治会の秋の風物詩となっています。用意したサンマもキノコ汁も短時間で参加者のお腹の中に収まり、皆満足顔で終了しました。

★最後の川辺町住宅の食事会

10年間続いていた川辺町住宅の高齢者食事会が、11月26日(日)をもって終了することになりました。これは参加者や調理担当ボランティアの高齢化によるもの。福長自治会長は「終了を惜しむ声も多いが、関係者の負担を考えて継続を断念しま

★川辺町第2住宅 の月見会



「した」と語っていました。この日は手作りのハンバーグが提供され、参加者はゆづりさわ味わって、10年間の幕を閉じました。スタッフの皆様「苦労様でした」。

★宮田町子ども会のハロウィンイベント



盛な食欲を覚せながら懇談のひとときが広がっていました。宮田町子ども会の秋の催しであるハロウィンイベントが、11月12日(日)に行われました。「トリック・オア・トリート」といながら思い通りに仮装を凝らした子どもたちが、宮田町内のお宅を訪問して回りました。この家でも笑顔で歓迎していただき、参加した子どもたちの心もほっこり温まる楽しい秋のイベントでした。

★年末恒例の餅つき大会

年末恒例の餅つきでは各町内会で行われましたが、12月2日(土)には峰岡町1丁目町内会が町内会館前で開催されました。ここには多くの町民が参加し、更に町内にステイしている外国人の人も参加。初めて杵を手にして力強く餅をついていました。いきたての餅を口に頬張り「オヤンピース」。



長が見守るなか子どもたちも大人に手を支えられて、元気いっぱい杵を振り下ろしました。家族揃ってつきたての温かく柔らかな餅を食する光景が見られました。

★ライオンズマンションの防災施設見学バスツアー



また、12月10日(日)には宮田町協和会でも、町内会館の庭で餅つき大会が行われました。この日は好天に恵まれ、小柴会に思われ、餅つき大会でも、町内会館の庭で餅つき大会が行われました。

★宮田町で介護予防

宮田町町内会では「ストップ! ロコモ」を合い言葉に、星川地域ケアプラザと共催し、第町内会館で介護予防教室を、11月から2月までの4回シリーズで開催しました。講師に介護予防運動指導員、管理栄養士、歯科衛生士などを迎えて、毎回約20人の高齢者がつと、熱心に学習しました。

ウォーキング教室



中央地区の「ほっとなまちづくり」計画に盛り込まれたウォーキング教室は、計画2年目により早く実施できました。共催の中央地区福祉保健活動推進委員会、星川地域ケアプラザ、区役所福祉保健課の応援をいただき、講師にスポーツセンターから阿部彩英子先生を迎えて春・秋の2回開催しました。

第1回目は6月24日

(土)午前中に35人が参加して、かるがも2階多目的ホールと星川中央公園で行いま

た。まず多目的ホールで体力測定と歩き方の基本を教わりました。そのあと場所を公園に移して、芝生の上を姿勢や歩幅などに注意しながら実際にウォーキング。強い日光を浴びて気持ちよい汗を流しました。

第2回目は11月11日(土)午前中に、落ち葉が舞い散る天王町公園に参加者37人が集まりました。前回と同じく阿部彩英子先生のもと、公園内で散歩とウォーキングの違いや、歩く速度や姿勢をチェックしてもらい、そのあと2グループに分かれて商店街を抜けて、帷子公園で小休止、ビジネスパーク敷地内を経て、天王町北公園まで約1時間のコースを歩きました。



おたのしみ会

おいしい、たのしい

29年度のおたのしみ会は、例年通り毎月(1、8月を除く)第1水曜日にかかるがも多目的ホールで行われました。はじめに健康体操をしたあと、レシビの説明を受けて、料理ボランティア手作りのおいしい昼食を頂きます。その後、担当の民生委員メンバーの企画による、楽しい「おたのしみ」のひとつを過ごします。今年度の「おたのしみ」は次のような内容でした。

- 4月: 塗り絵、5月: 鯉のぼり皿、6月: 頭の体操、7月: 幼稚園児との交流、9月: アコーディオン演奏と合唱、10月: フラダンス鑑賞、11月: 健口体操講座、12月: マラカス作り、2月: ウクレレ演奏とフラダンス、3月: タオル犬作り
- 11月: 料理ボランティアの皆さん
- 3月: かわべっこキッズが「こどもフリマ」

夏の催し

自治会、町内会恒例の夏のイベントが6月から9月にかけて開催されました。今年は台風の影響などもあり、日にちを順延した町内もありました。6月には橋樹神社の祭礼で神輿や山車が町内に繰り出して、参加した子どもたちの元気な声が響きました。7月から9月には盆踊りやマンションのフェスティバルなどが多彩に開催され、10月の川辺町町内会の祭りで幕を閉じました。

どの会場にも模擬店、屋台などがお父さん、お母さんの手で開かれ、子どもたちがお菓子や焼きそばなどを食べ、お父さんたちがビールを片手に、焼き鳥を頬張る風景が見られました。

- 天王町夏祭り
- アリュール
- 川辺町祭り
- コスモ
- ライオンマンション
- 天王町団地
- パイロットハウス
- パークシティ

- 宮田町夏祭り
- 宮田町盆踊り
- 川辺町盆踊り
- 峰岡町2丁目夏祭り
- 峰岡町1丁目盆踊り
- 天王町団地

今年度は川崎市の施設を巡りました

中央地区社協のバス研修会



参加した中央地区の皆さん(エコ暮らし未来館で)

毎年恒例の中央地区社協バス研修会が、11月7日(火)に町内会・自治会の役員と民生委員・児童委員の42人が参加して行われました。今回は川崎市浮島の「かわさきエコ暮らし未来館」、多摩区にある「日本民家園」「岡本太郎美術館」「宙(そら)と緑の科学館プラネタリウム」の4カ所を見学しました。

エコ暮らし未来館では、大規模太陽光発電装置や地球温暖化防止の取り組み、資源環境再利用の取り組みなどを学び、更に隣接のゴミ処理工場なども見学しました。その後、多摩区の生田緑地に向かい、はじめの日本民家園では東日本各地から移築された古民家を見て回り、園内の「そば処白川郷」で昼食を摂りました。

次いで同緑地内にある岡本太郎美術館では、岡本太郎の生命力が爆発したような絵画や彫刻などに目を見張りました。最後のプラネタリウムでは、星空を見て宇宙を感じた人や、夢の世界に引き込まれた人もいました。好天の秋のひとつを楽しく有意義な研修になりました。

ほっとなまちづくり計画懇談会

昨年決定された中央地区「ほっとなまちづくり計画」2年目の29年度は、5月、9月、平成30年1月、3月に4回の懇談会を持ちながら、着実に計画を推進してきました。

30年1月16日(火)には区役所202会議室にて、中央地区支援チームリーダーの大橋いずみ係長のもと、中央地区社協の各部門担当者が集まり、進捗状況の報告がありました。区社協、星川地域ケアプラザからも代表が参加して意見を述べました。それらを2月に「振り返りシート」に記入して、3月の同懇談会で反省点と課題を皆で共有し、計画3年目に入ることになりました。

平成28年度の地区社協総会行われる

28年度の中央地区社会福祉協議会の総会は、29年5月27日(土)午後5時から、かるがも2階の多目的ホールで行われました。ここでは中西地区社協会長を議長に28年度の事業報告、決算報告と29年度の事業計画、予算並びに役員人事などの案件が全員一致で承認されました。更に終了後の午後6時から、同会場で中央連合町内会の総会も行われ、本格的に29年度が発足しました。

配食(弁当)サービス

29年度の配食(弁当)サービスは利用者の見守りも兼ねて、年11回(8月を除く)毎月第3水曜日に行いました。調理ボランティアが真心込めて作った栄養満点の弁当60食は、昼の12時ごろから作り始めます。

夕方の4時半ごろに出来上がった弁当は、冷めないうちに配達ボランティアの手によって利用者のもとに届けられています。その際の利用者の様子もサービスセンターに報告されています。

かわべっこキッズが「こどもフリマ」

川辺町のマンション群に住む子育てママが立ち上げた「かわべっこキッズ」の2年目の活動報告です。7月21日(金)の午後1時から、青少年の地域活動拠点「ハビスク」で「こどもフリーマーケット」を開きました。不要になったおもちゃ、本、服などを持ち寄り、子どもたちがお店を開いてかわいい売り子さんになりました。

初めは「いらっしゃいませ!」の声も小さかったが、時間の経過とともに堂々とした接客ぶり。お金の計算もしっかり出来て、販売時間の2時間もあっという間に過ぎました。子どもたちにはとても良い経験になりました。

ラジオ体操も元気に

7月24日(月)からの5日間は、昨年に引き続いて川辺公園でラジオ体操を行いました。ここには子どもだけではなく近隣の大人も集って、合わせて約45人が毎日参加しました。皆勤の子どもも結構いました。最終日は公園に感謝の気持ちを込めて皆でゴミ拾いをして、充実の夏休み行事は終わりました。

赤い羽根共同募金活動に協力

共同募金活動の初日の10月1日(日)に中央地区の民生委員、主任児童委員の12人が、相鉄線天王町駅とスーパーマルエツ天王町店の店頭に分かれて、約2時間にわたり募金に協力しました。駅の乗降客と買い物客に向かって募金を呼びかけるなか、小さな子どもがお小遣いの中から募金をしてくれた姿には感動しました。

防災拠点の訓練

中央地区内の地域防災拠点3カ所の訓練が行われました。

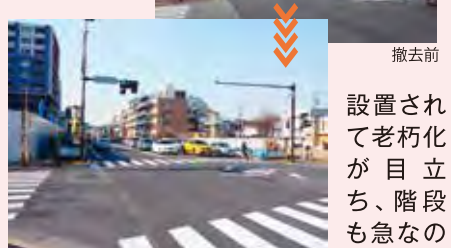
10月29日(日)には帷子小学校(天王町と川辺町のマンションの一部住民対象)の訓練が、雨降る中の体育館を会場に開催されました。

11月12日(日)は峯小学校(川辺町、峰岡町の住民対象)、更に12月3日(日)には宮田中学校(宮田町の住民対象)でそれぞれ訓練が開催されました。

各拠点では避難所の運営を想定して、備蓄食料の配給訓練やけが人に処置を行う訓練などが行われました。校庭ではご飯の炊き出しや、携搬ポンプを操作しての放水、下水直結式仮設トイレの組み立て訓練などが行われました。3拠点の訓練はそれぞれ消防関係者から高い評価を受けて終了しました。

峯小学校前の歩道橋が撤去、新たに横断歩道

国道16号線の峯小学校前の歩道橋は、昭和43年に



撤去前

設置されて老朽化が目立ち、階段も急なので高齢者に利用されなくなっていました。そのためこの場所を無理に横断する人の交通事故も相次ぎました。

ここには137人が参加し、活発な意見や行政への提言が出されました。中央地区の参加者からは、ゴミ収集や自治会加入、個人情報管理などの身近な問題について多くの意見が述べられました。

あんしん訪問員の研修会

猛暑の8月9日(水)午前10時から、かるがも多目的ホールで中央地区社協あんしん訪問員研修会を開催しました。これは民生委員、あんしん訪問員合わせて41人が出席しました。

担当の鎮目民生委員が司会を務め、最初に区高齢・障害支援課の岩井課長が挨拶をしたあと、福祉保健課の児玉職員が担当で「あんしん訪問マニュアル」を教材に、訪問活動の基本や個人情報の扱いなどを、1時間にわたって受講しました。最後に中西中央地区社協会長からねぎらいと励ましをいただきました。

11月17日(水)に峯小学校4年生2クラスを対象にした福祉学習授業「高齢者疑似体験」を、中央地区民生委員、主任児童委員、ボランティアグループのネーブルの会有志がサポートしました。

「高齢者疑似体験授業」(峯小学校)を支援

この授業は78人の児童が、手足の関節を動きにくくし、視野の狭いゴーグル、ヘッドフォンで外の音を聞こえなくし、杖をついて校舎内の階段の昇降などを通して高齢者の体験をするものです。体験後に児童から感想発表も行われました。

後日、体験した児童全員から感想と感謝の言葉を綴った文集が民児協に寄せられました。

「地域のつどい・Cグループ」で活発な意見交換

区内を6グループに分けて毎年開催している「地域のつどい」は、中央・中央東部・常盤台・和台釜の4連合(Cグループ)が集って、7月1日(土)午後2時から区役所4階401会議室で開催されました。

ここには137人が参加し、活発な意見や行政への提言が出されました。中央地区の参加者からは、ゴミ収集や自治会加入、個人情報管理などの身近な問題について多くの意見が述べられました。

